



Miura city council news

みうら市議会だより

2021.2.1 第144号

- 小中学校へのタブレット端末・電子黒板整備に関する議案を可決
- 特別委員会の調査・政治倫理審査会の審査が終了
- 第3回臨時会を開催



総務経済

◎三浦市火葬場条例の一部を改正する条例

本案は、三浦市火葬場の利用料金の上限額などを改めるものです。

質問 他の自治体の料金はどうか。

答弁 神奈川県内ではばらつきがあり、大人の火葬料金は六千円から一万二千円である。三浦市は、政令市を除き一番安価である愛川町を参考に額を設定した。



◎令和二年度三浦市一般会計補正予算(第六号)

本補正は、歳入歳出それぞれ一億九千五百二十

六万四千円を追加し、予算の総額を二百二十四億六千八百二十五万七千円とするものです。

質問 生活困窮者に対する住居確保給付金について、支給件数と支給期間終了後の対応は。

答弁 二十五件の支給決定をしている。

支給期間は二回延長できるため、現在は期間を終えた人はいない。また、国からは、期間を最長九か月から十二か月に延長する通知が出された。

質問 がん検診事業について、昨年度の実施状況との差はどうか。

答弁 新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の集団検診の実施は三回であり、代替の実施も今は困難である。

また、一回の定員を少なくしているため、昨年度の五〇%から七〇%程度の実績を見込んでいる。
質問 新型コロナウイルスのワクチン接種が実施される場合の流れを伺う。

答弁 時期は決定していないが年度内に接種を開始するよう準備を進めている。市民にはワクチン接種の無料クーポンを送る予定である。

◎令和二年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第一号)

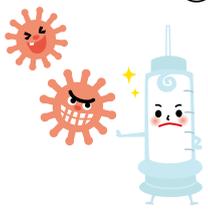
本補正は、歳入歳出それぞれ四十四万三千円を減額し、予算の総額を七億八千四百三十八万四千円とするものです。

(質疑は特にありません)

◎令和二年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計補正予算(第二号)

本補正は、歳入歳出それぞれ五千四百六十二千円を減額し、予算の総額を八十億七千二百二十二千円とするものです。

(質疑は特にありません)



都市厚生

◎令和二年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)

本補正は、歳入歳出それぞれ三百四十一万七千円を追加し、予算の総額を六十億九千八百九十八万三千円とするものです。

質問 新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免申請の状況は。

答弁 令和元年度を合わせて延べ百一名から申請があり、減免額は二千七百七十七万円である。

◎令和二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第一号)

本補正は、歳入歳出それぞれ九十五万八千円を減額し、予算の総額を八億五千六百六十二万一千円とするものです。

質問 委託料の内容をお聞きしたい。

答弁 税制改正に伴い、県の後期高齢者医療広域連合の標準システムが改

修されるため、連携している本市のシステムを改修するものである。

◎令和二年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第二号)

本補正は、歳入歳出それぞれ一億七千三百九十九万六千円を追加し、予算の総額を五十三億七千五百四十四万六千円とするものです。

質問 介護サービス費の傾向と今後の介護保険料について聞きたい。

答弁 ショートステイに対する給付が伸びているが、今後は高齢化に伴い、給付費全体が伸びると予測される。保険料は、令和二年度からの第八期介護保険事業計画を策定する中で検討していく。

◎令和二年度三浦市公共下水道事業会計補正予算(第二号)

本補正は、収益的収入を減額し総額を十億二千四百八十九万九千円に、資本的収入を追加し総額を七億八千六百二十六万

六千円にするほか、債務負担行為の設定をするものです。

質問 当年度純利益が大きく減少した理由は。

答弁 新型コロナウイルスの影響で下水道使用料収入の減少が見込まれたためである。

◎財産の取得について

以上二件は、市内小中学校に学習者用タブレット端末と電子黒板を整備するためのものです。

質問 授業のおくれがある中で、タブレット端末の導入は教員の負担が増えるのではないか。

答弁 各校での校内研修やICT支援員の積極的な活用によって負担軽減を図りたい。



特別委員会の調査結果

2つの特別委員会が付託された調査を終え、定例会最終日の本会議で各委員長から報告を行いました。

三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会

平成三十年八月に公表された三浦国際市民マラソンに係る市職員の不祥事について調査を行うため、令和元年五月二十日に設置されました。

開催日ごとの調査概要

- 令和元年六月二十一日
・市側より職員の不祥事に関する経過、関係職員の処分、捻出された裏金の内訳について報告を受けた。
・原因究明の進捗状況、既にとられた再発防止策などの質疑を行った。
- 令和元年九月二十五日
・三浦市不祥事再発防止策検討委員会の開催、刑事事件の第一回公判、事案に係る市の調査状況等について報告を受けた。
・第一回公判の内容、不祥事再発防止策検討委

- 員会の取組、関係者への聴取に関することなどの質疑を行った。
- 令和元年十二月十一日
・第二回及び第三回公判の内容、不正支出等に関与した職員の処分、裏金に関する整理結果等について報告を受けた。
- ・職員処分や人員配置、関係企業等の調査、不祥事再発防止策検討委員会の検討状況などの質疑を行った。



受けた。
・再発防止策の具体的な内容、責任追及に臨む市の姿勢、損害賠償請求額の詳細などの質疑を行った。

- 令和二年二月十五日
・市として損害賠償請求のための訴えを提起したこと、三浦国際市民マラソン二〇二一年大会の中止等について報告を受けた。
・不祥事に係る経過や再発防止策など一定の調査ができたこと、この件については今後も議会への報告を求めるところを確認して、調査を終了した。

選挙管理委員会の事務等に関する調査特別委員会

市議会議員選挙の際に配られた選挙公報で、石渡道臣元議員の経歴に事実と異なる記載があったこと、また、選挙前に石渡元議員側から配られたビラに関して、事実を明らかにし議論を深めるため、令和元年九月二十七日に設置されました。

開催日ごとの調査概要

- 令和元年十二月十一日
・選挙管理委員会事務局に対し、選挙公報の品位、選挙公報の誤記載をなくすための方策、ビラ等の配布資料に関する照会への対応等について質疑を行った。
- ・石渡道臣議員に出席を求め、事実と異なる経歴を記載したことへの見解、市民への説明責任等について質疑を行った。

- ・石渡議員から本件により議員の品位を損ねたとの発言がされたことに対し、委員から、議員政治倫理条例に規定された、市民全体の代表者としての品位を損ねたのかとの指摘があり、この協議のため委員会を休憩し散会した。
- 令和二年六月十九日、九月二十四日
・石渡議員から病気療養を理由に欠席届が提出されたため、開会后、直ちに散会した。
- 令和二年十二月十五日
・石渡議員が議員辞職したため、継続中の質疑を打ち切った。
・これまで行った質疑により選挙管理委員会事務局等に関する調査ができたものとして、調査を終了した。

新たに提出された陳情

◎「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

趣旨 本陳情は、最低賃金の抜本的な引き上げ、地域間格差をなくすこと等について、国に意見書を提出することを求めています。

◎「消費税の税率を5%に引き下げる意見書」を国に提出することを求める陳情

趣旨 本陳情は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済危機がくらしと経済に影響を落としていることから、表題の事項を行うよう求めています。

◎安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情

趣旨 本陳情は、新たな感染症の拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと等について、国に意見書を提出することを求めています。

◎国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

◎神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

趣旨 これらの陳情は、公立・私立学校の学費格差をさらに改善し、すべての子供たちに学ぶ権利を保障するため、私学助成をより一層増額するよう、国と県に意見書を提出することを求めています。

◎学校統合についての陳情書

趣旨 本陳情は、三浦市学校教育ビジョンの中で令和七年に行うと示されている学校統合について、早計に行わないよう、市に進言することを求めています。

◎親教育を目的とした、別居、離婚における子どもの権利保護の勉強会、周知を求める陳情

趣旨 本陳情は、別居・離婚における子供の権利保護についての勉強会を実施し、市民に周知・浸透を図るよう、市に働きかけることを求めています。

◎学校給食費の無償化を求める陳情書

趣旨 本陳情は、新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響を受けた子育て世帯に対する経済的負担の軽減策として、一定期間、三浦市立小中学校の学校給食を無償化することを求めています。

◎思いやり予算の廃止を求める意見書提出を求める陳情

趣旨 本陳情は、在日米軍に対する思いやり予算（在日米軍駐留経費の日本側負担）を廃止するよう、国に意見書を提出することを求めています。



陳情の審査結果

12月定例会で審査を終えた陳情は、次のとおりです。

所管委員会	件名	結果
都市厚生	安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める陳情	審議未了
	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	

本会議での議案等の審議結果

《全員賛成で議決した議案》

【議案】

- 第80号 三浦市火葬場条例の一部を改正する条例
- 第81号 令和2年度三浦市一般会計補正予算（第6号）
- 第82号 令和2年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 第83号 令和2年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
- 第84号 令和2年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 第85号 令和2年度三浦市市場事業特別会計補正予算（第1号）
- 第86号 令和2年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計補正予算（第2号）
- 第87号 令和2年度三浦市公共下水道事業会計補正予算（第2号）
- 第88号 財産の取得について（三浦市学習者用タブレット端末）
- 第89号 財産の取得について（三浦市立小・中学校 I C T 環境整備備品（電子黒板））
- 第90号 令和2年度三浦市一般会計補正予算（第7号）
- 第91号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

【諮問】

- 第2号 人権擁護委員の推薦について

議会を傍聴するには？

新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴方法を変更しています。来庁時には、事前の検温やマスクの着用、手指消毒をお願いします。

- ①市役所本館3階の議会事務局にお越しください。

（受付は、当日9時30分からです）

- ②受付簿に記入してください。傍聴カードをお渡しします。（定員は8名・先着順です）



- ③傍聴席では、傍聴カードの番号の席にお座りください。
- ④お帰りの際は、傍聴カードを議会事務局へお戻しください。

※委員会は、別室にて、音声放送のみの傍聴となります。
※感染対策の見直しにより、傍聴方法が変更になる場合があります。最新情報は議会ウェブサイトをご確認ください。

第3回臨時会が開かれました

令和二年十一月二十四日に、臨時会が開かれました。

三浦市の一般職の職員、特別職の職員（市長、副市長、教育長）、病院事業管理者、市議会議員の期末手当（ボーナス）の額を見直すための議案四件が提出されました。

四件とも、令和二年十月七日に出された人事院勧告の内容を踏まえ、期末手当の支



給割合を〇・〇五分引下げるもので、本会議では全会一致で可決されました。

●臨時会

必要に応じて臨時に開かれる議会です。臨時会では、あらかじめ示された特定の事件を審議します。

●期末手当の見直し

三浦市の職員は、国家公務員に準じて給与等の改定を行っています。



一般質問 質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずくことをいいます。第4回定例会では、11人の議員が市政運営について市側の考えをたずきました。



感染症と経済振興

コロナ禍での児童虐待の現状
公明・みうらクラブ 鈴木 敏史

質問 感染予防対策として、十二月一日に市長メッセージが市民に対し発信された。感染予防対策について、周知している内容と方法を聞く。

保健福祉部長 ホームページ・三浦市民・デジタルサイネージでの啓発を行っている。「三浦市民」では、感染症に関する健康情報特別ページを毎月設け、相談方法・相談先の案内・感染予防対策・健康保持の情報等を掲載している。

質問 みうらグルメチケットは、地域経済活性化の一環として、スピード感とインパクトのある対策で、市民向けには他に類を見ないプレミアム率一〇〇%のチケットが七千冊販売され、多くの反響があったと認識している。どのような手法で市

民への周知や応募の受付を行ったのか聞く。

経済部長 市民向けチケットは、「三浦市民」に関係記事を掲載し、報道機関への情報提供と、観光協会が専用ウェブサイトを立ち上げ周知した。郵便局を通じて、各世帯のポストなどに応募はがきつきの案内チラシを郵送し、市役所等に配架するなど、全市民に案内チラシが行き渡るよう努めた。



プレミアム率100%のグルメチケット

質問 応募件数と、抽選はどのように行われたのか聞く。

経済部長 九千六百二十件の応募を頂き、三浦市観光協会事務室において、厳正な抽選が行われた。

質問 コロナ禍における市内の児童虐待の現状について聞く。

保健福祉部長 今年度上半期における、相談・通告の件数は六十五件あり、そのうち児童虐待の受理件数は四十五件である。子供の面での夫婦げんかによる心理的虐待が最も多い状況にある。児童虐待の件数は昨年度と比較して十五件増加した。

質問 今後の市の取組について聞く。

市長 これまでになかった休校措置・リモートワークの促進など、家庭内での生活環境が大きく変化している中で、家族間の問題が顕在化する可能性は高いと考える。児童とその家庭との関わりを持つ関係機関との緊密な連携を図り、引き続き児童虐待防止対策に取り組んでまいりたい。



キエーロその後

ファミサポの仕組み、図書館
日本共産党 石橋むつみ

質問

コロナ禍でのごみ処理の現状、ごみダイエットアクションプログラム、キエーロ普及の展開を問う。我が家では製作の手間要らずの古茶箱活用のキエーロで年間百キロの生ごみを分解燃せるごみを減らした。

市長

キエーロは私の家でも活用、減量の効果を実感している。一人でも多くの市民、職員に使ってもらえる施策を考える。

質問

開設一年のみうらファミリー・サポートセンターの現状、仕組み、提供会員向け研修の内容、安全・安心に活動を行うための取組を問う。

保健福祉部長

市が事務局を担う育児の相互援助活動であり、依頼会員十四名、提供会員十六名が登録完了している。研修は、心・行動・遊び・発

型コロナ感染症拡大への対応状況を伺う。また、三浦市の図書館三館も加盟する神奈川県図書館協会は、法より更に古い歴史を持ち、各種図書館が調査・研究や広報活動、館員の研修など多彩な活動を行っている。ネットから情報があふれる様に飛び込んできても、何が大切かを見抜く力は読書によって培われると考える。コロナ禍にあっても市民の願いに応え、地域の資料と情報のセンターとなる三浦の図書館の充実を願う。

教育長

図書館は教育と文化の発展に寄与する重要な社会教育施設であると認識する。
教育部長 四月の緊急事態宣言後約二ヶ月は臨時休館したが予約本の貸し出しやポストへの返却受付は行った。閲覧席を減らし感染防止を図りながら段階的にサービスを再開し現在に至るが利用は昨年の半分程度である。



子ども課は市役所分館2階正面に移動

質問

公共の図書館の設置と運営に関して定めた図書館法が制定されて七十年。市民生活に密接な関わりを持つ図書館の新



コロナ対応ほか

終活支援、三崎漁港利活用
無所属 蓮本 一朗

質問

感染が拡大している中、医療現場の現状、学校教育の復旧後の状況、今年台風シーズンを迎えた際の準備について伺う。

市長

台風には万全を尽くした。今年は新型コロナウイルスという目に見えない敵との戦いが加わり、本市の防災対策も大きな見直しを迫られた年であったと感じている。

保健福祉部長

十一月より神奈川県が神奈川県モデルとして「県発熱等診療予約センター」を開設した。まずかかりつけ医への相談が優先だが、県のコールセンターに電話による予約とLINEでの予約ができる仕組みである。

教育部長

現時点では、今年度末までに各学校が計画している教育課程の

質問

学修内容をすべて履修できる見込みである。

防災担当部長

市民ホール、潮風アリーナ、三浦初声高等学校入江キャンパスを避難所として活用出来るよう調整した。床に間隔を保つ表示措置のほか、フェイスシールド及びマスクの配布準備を整え、トイレ・ドア・蛇口の消毒、発熱者用の資材準備などを講じた。

質問

行政による終活支援事業について、元氣なうちに終活関連情報を市に登録する仕組みは、死後の手続などを行う上でも意義のあるものだが、この登録事業を導入してはどうか。

保健福祉部長

終活支援としての登録事業は、高齢化率の高い三浦市にとって意義のあるものと考ええる。横須賀市、逗子市、

鎌倉市でこの登録事業を実施しているが、これらの導入状況、実施状況を踏まえて検討したい。



終活でエンディングノートを始めませんか。

質問

水産資源の動向等から今後三崎漁港の水揚げの大幅な増加は考えにくいし、就労人口も減少して高齢化している。漁港という単一の機能だけでなく、貨物船が発着できる機能を備えることの検討も必要ではないか。

水産担当部長

地元経済界から特段の要望もないことから、三崎漁港に水産物以外の物流機能を求める民間需要はないと認識している。将来首都圏への海上物流の陸揚拠点等の民間需要が高まれば漁港管理者の神奈川県と連携して利活用を検討していく。



観光振興について

通学路の安全対策

自由民主党 長島満理子

質問 ワークেশションが、今、注目を集めている。

三浦市の課題でもある滞在時間の延長に伴う宿泊客の増加、新たな三浦ファンの掘り起こしなどの観点からも、誘客するという面で有効な策と考えるが、ワークেশションの取組について意見を伺う。

リモートワークをする若者の増加、市内で一

関係の仕事の人が移住してきた話を聞くと、トライアルステイ事業もあり、現在移住促進に関する取組はあるのか伺う。

経済部長 新たな生活様式に即した誘客の手法として、既に市内業者との情報交換をしている。現在はコロナの収束にめぐ

が立たない状況であること、環境整備に関わる費用面など課題もあり、関係事業者と協議を進めて

いく。

政策部長 令和三年三月

に、若年層にターゲットを絞り、民間の取組、二拠点居住及びリモートワークなどの転入促進に加え、三浦市に住む若年層が三浦市の魅力を再認識することによる転出抑制を目的とした新たな移住・定住促進冊子を制作する。

質問 八月に縦貫道路の

延伸により三浦市へのアクセスはよくなり、交通渋滞が懸念されたが、コロナ禍で海水浴場の開設中止など、来訪者の減少で、交通量の大幅な増加はなかったが、徐々に利用者が増加することが考えられる。

交通量の増加を懸念し、区長会や保護者から様々な要望が出ていると思うが、どのようなものが出

ているのか、今後市はどのような対応をするのか伺う。

都市環境部長 交通量増加に伴う安全対策要望として、一部歩道幅員が狭

くなっている箇所の拡幅、横断歩道の設置や通学路標示板の設置が要望されている。

対応として、拡幅が必要な歩道は、令和二年度に用地買収、令和三年度に整備を行う予定である。横断歩道の設置は、規制標示であるため、三崎警察署へ設置を依頼している。

運転者へ通学路を認識させる対策は、教育部が令和三年度に予定している通学路の合同点検にて、学校関係者、警察、道路管理者等から意見集約し、整備を考えている。



今後の下水道事業

コンセッション他、高齢者支援

公明・みうらクラブ 溝川 幸二

下水道コンセッション方式の導入について

質問 民間事業者にインフラの事業運営に関する権利を長期間にわたって付与するコンセッション方式検討経緯は？

市長 公共下水道事業運営上、施設老朽化、一般会計繰入金依存、下水道

使用料収入減少等、施設や財政面の課題解決の可能性として検討を始めた。

質問 事業概要は？

下水道担当部長 運営権

設定範囲は、三浦市公共下水道事業計画区域の総体であり、対象施設は、汚水処理に関する全ての施設であり、管路施設の増築及び改築を含めたコンセッション事業は、国内初である。

質問 国内初ともなれば注目度も高まるかと思うが、どう考えているか。

下水道担当部長 下水道

管ぎよの増築は、改築事業の総額に占める割合は少ないが、注目度は非常に高いものと考えている。

質問 三浦市の下水道は上宮田地区にしかなく、不平等であるという意見に対して市ではどのように考えるか。

下水道担当部長 本市の

財政負担も考慮した上で、排水処理方針を検討したいと考える。

質問 今後の課題は？

市長 一般会計繰入金削減可能か、市債残高が減少するか等、定性的な指

標があった。今後の検討はリスク分担の明確化や、市内事業者の活用、市として総合的な判断の必要から、より一層の難しさもあると考えている。コンセッション審議会や民間事業者とのヒアリングを通じ、よりよいコンセッションスキームとなるよう、進めたいと考える。

高齢者支援の取組

質問 高齢者の活動の場を広げる事業について。

市民部長 高齢者各個人がやりがいを持ち、自身自身のペースで社会参加できる仕組みづくりを目指している。

質問 事業目的は？

市民部長 三浦市の魅力である地域資源の情報を集め、発信することをテーマとしている。高齢者の生きがいづくりにもつながると考えている。

要望 高齢者の活躍する場所が増えて、そこから始まるつながりにも期待できる事業であるため、進めていただきたい。



注意喚起の旗



コンセッション方式導入が検討される下水道事業



学校教育ビジョン

子育て支援、介護保険事業計画
日本共産党 小林 直樹

質問 学校教育ビジョンは、市内八小学校の五校を廃校にし、三校にすることを令和七年度に実施する計画である。

三崎地区では、三崎・岬陽・名向小学校が一枚に、南下浦地区では剣崎・南下浦・上宮田・旭小学校が一枚になる。

小学校の統廃合は、避難所や地域コミュニティなど、地域にとっても密接な関係がある。地域の方への説明も必要ではないか？

教育部長 地域の皆様のことを軽視しているわけではない。地域への説明も考えていきたい。

質問 保護者向けの説明会資料には「教育の質の向上を図っていくには十二学級以上の確保が何より必要」とある。

しかし、現在、十二学

級未満の小学校が七校ある。その七校は、教育の質の向上を図ってこなかったのか？

教育部長 十二学級以下の学校で、教育の向上が図られないということではない。説明が十分でなかったことも反省しながら、今後さらに努力していく。

質問 長距離通学、避難所の確保、学童保育の存続などの課題がある。課題を解決してから統合校を決めることが必要だが、どのように考えているか？

市長 候補校を決定する段階では、課題の解決策を示した上で理解を得る努力をしていく。問題にきちんとお答えできる体制を準備していきたい。

子ども・子育て支援

質問 乳幼児健康診査の

受診率は、一〇〇%を目標にしている。未受診の子への対応は、どのようにしているのか？

保健福祉部長 対象月に受診しなかった方には、翌月、翌々月の健診受診日を通知している。また、電話連絡をして受診を勧奨している。

介護保険事業計画

質問 現在、市は第八期の介護保険事業計画を策定している。策定作業の進捗状況と今後の予定について、お聞きする。

保健福祉部長 素案の策定まで終えている。パブリックコメントの準備を進めている段階である。



三浦市立名向小学校



コロナ対策

経済活動と感染防止の両立
無所属 寺田 一樹

質問 コロナウイルス第三波の襲来により、市内経済の更なる落ち込みを懸念しているが、行政では、市内経済の現状をどう捉えているのか伺う。

市長 緊急事態宣言時、外出自粛の要請が続いたため、観光関連産業のみならず、経済活動そのものが大きな打撃を受け停滞したと認識している。

三浦市として独自の経済対策を実施し、回復の兆しはあると感じている。しかし、全国の感染者数が増加傾向にある中で、来訪者数が再び減少することを懸念している。今後も予断を許さない状況が続くと認識している。

質問 グルメチケットは、即日完売になるなど大変好評であった。販売から二カ月を迎えようとしている現在の利用状況について尋ねる。

いて尋ねる。

経済部長 既に半分近くが利用され市内消費につながっている。一定程度の経済効果を生み出していると認識している。

質問 諸々の状況を勘案すると、追加販売することで更なる経済効果が生まれると考えられるが、その可能性について伺う。

市長 好評であることも踏まえて追加発行したいが、財源等も十分検討しながら決めていきたい。



おもてなしグルメチケット

質問 グルメチケットと並行して実施しているバスツアー補助事業について、適切に対処していく。

ても、多くの方が来訪するきっかけを作っている。その一方で、大勢の方が訪れることによって感染のリスクが高まってしまふ。関係各所における感染防止の徹底についてはどのように呼び掛けているのか尋ねる。

経済部長 グルメチケット取扱店舗の募集に際し、必要な感染対策を講じることを前提条件としていた。大型施設では、独自のガイドラインを作成し感染対策に努めている。

また旅行会社などは、業界内で定められたガイドラインを遵守するなど、それぞれが適切な対応をとるよう心掛けています。

質問 市民の健康を守るためにも、感染の状況によつては、バスツアー補助事業の一時中断も視野に入れるべきと考えるが、行政の考え方を問う。

経済部長 今後感染者数などのコロナの影響や、国・県の動向に注視しつつ、適切に対処していく。



職員の早期退職

無電柱化の促進

自由民主党 出口 正雄

質問

国家公務員の早期退職者が増加しているとの新聞報道がある。民間の一流企業でも同様と聞くが、三浦市職員でも若い職員の早期退職者が増加していると聞く。この五年間の退職者数、勤務年数、退職理由を聞く。

あわせてメンタル面を理由とする退職者の推移を聞く。また退職の原因にハラスメントの有無は。



三浦市役所

総務部長

過去五年間の三十歳代以下で退職した職員は、平成二十七年五名、二十八年三名、二十九年五名、三十年十一名、令和元年度九

名、合計三十三名である。平均勤務年数は四年五ヶ月、退職理由は様々であるが、他の自治体に転職した職員は十九名である。

メンタル面の退職者は各年度四月一日時点で、平成二十八年四名、二十九年四名、令和元年度二名、二年六名であり、メンタル面を理由として退職する職員は増えている認識である。ハラスメントは年に数件相談がある。

市長

転職の理由は職員ごとに様々であるが、短い期間での退職は非常に残念である。日々奮闘している職員の頑張りを感じ、非常に悔しい気持ちになり、三浦市として、職員が意欲的に働き続けていくために何をすべきか、育成をどのように図り、いかにモチベーショ

ンを保って市民のために働くか、職員とともに十分な検討をしていきたい。質問 地震、水害、台風などによる電柱倒壊被害が各地で発生している。

質問

電柱の倒壊は長時間の停電により被害を大きくする。強風などの影響を受けない電柱の地下埋設を一定規模以上の開発計画の条件としてはどうか。

防災担当部長

無電柱化により倒木による断線や電柱の倒壊による通行障害はなくなり、救助活動や物資等の輸送の安全が確保され、停電後の早期復旧のメリットがある。各関係者と協議しながら調整していく。

都環境部長

無電柱化は歩行者の通行の支障となる電柱がなくなること、バリアフリー化が図られる等のメリットがある。開発では防災機能の強化、安全で快適な宅地確保、良好な都市景観の形成の観点からも無電柱化の促進に取り組んでいく。



行政のデジタル化

コロナ禍での避難所の換気対策

公明・みうらクラブ 藤田 昇

質問

行政手続きのオンライン化の推進。パソコンやスマートフォンなどからオンラインで完結できる行政手続きの推進と、大事なことは今からでも取り組める可能なかぎりのオンライン化を進めることを要望。

市長

行政手続きのデジタル化は、現在のコロナ禍の状況では、その必要性が高まっていると感じている。市民の皆さんがデジタル化の恩恵を受けられるように行政手続きのオンライン化を進めていく。

質問

一年に一回届け出が必要な児童手当の現況届についてオンライン申請ができるように早急に対応すべきこと。また、児童手当や保育施設の利用申込など、国が推奨する十五のサービスについ

ても、早急に対応するべきことを併せて要望。

市長

おっしゃるとおり、児童手当の現況届の手続きについては、市民の利便性が非常に高いと考えているので、令和三年六月の続き時に間に合うよう対応する。また、児童手当の現況届の手続き以外の国が推奨する十五のサービスについても、準備が整い次第、順次取り組んで参りたいと思う。

質問

住民票等のコンビニ交付について、マイナンバーカードを利用して市区町村が発行する証明書(住民票の写し、印鑑登録証明書等)が全国のコンビニエンスストア等のキオスク端末(マルチコピー機)から取得できるコンビニ交付サービスの導入を要望。

市長

他自治体と同水準

のサービス提供が必要と認識しており、開始時期など実施に向けた検討を引き続き行っていきたいと考えている。

質問

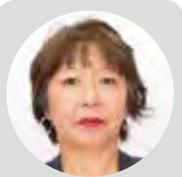
避難所の換気の必要性について、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、避難所となる体育館の換気対策として、窓や扉を開ける他に、効率的に換気ができるような新たな資機材の整備も必要と考える。そこで資機材の整備を要望。

防災担当部長

議員がおっしゃるとおり、定期的には扉を開放する換気を基本とし、これを補完する資機材の整備についても現在検討を行っている。



コンビニ・マルチコピー機



あつたかいまち

子供を産み育てたくなるまち

自由民主党 神田 眞弓

質問 東海岸線の整備

三浦市には、現在整備されていないが、今後、有力な観光資源になると見られる景観スポットがある。東京湾を挟んで房総の山並みに触れ、太平洋につながる景色は、都会では味わうことのできない景観スポットを持っている。コロナ禍の中、広い公園で過ごしたり、景観を楽しんだりすることが多くなってきた。三浦を代表するハイキングコース、観光コースとして整備をお願いする。

都市環境部長 仮称宮川 総合公園として拡張整備を進め、風車と宮川湾を臨む眺望を楽しめる市民の憩いの場として緑の交流拠点に位置づけがある。早期の拡張整備は困難であるが、実施可能な段階になれば、市民や観光客

の憩いや交流の場である総合公園として整備を進めたい。



宮川公園

質問 児童虐待防止

子育て世代包括支援センターは、妊娠期から子育て期まで総合的な相談と支援を行う機関で、全国でいち早く設置した。児童福祉法改正で「子ども家庭総合支援拠点」の設置が求められている。二つの機関が大切な役割を果たすが、設置状況は。

保健福祉部長 子ども家庭総合支援拠点は、子供とその家庭、妊産婦を対

象に専門的な相談対応や継続したソーシャルワーカーの方針に基づき、令和四年度中の開設を目指して準備を進めている。

質問 学校教育ビジョン

教育委員会がすべきことは、保護者の不安や疑問を正面から受け止め、その答えを、きちんと説明することである。最も影響を受けるのは子供達である。令和七年度にこだわることなく教育ビジョンを再検討し、勇気を持って立ち止まり、気持ちを取りセットして学校教育ビジョンを見つめるべきであると思うが。

教育長 学校教育ビジョンは、児童数の推移などを考え、令和七年度にスタートを目指しているが、コロナ禍の影響により説明会などが効果的に実施できていない。理解を得られるように努力し、推進スケジュールについては柔軟に対応し、丁寧に取り組んでいく。



上下水道事業

新型コロナウイルス感染症対策

自由民主党 出口 眞琴

質問 下水道事業全体に

おける経費縮減のため、コンセッション方式の導入を検討しているがコスト削減の取組について伺う。

市長 二十人いた下水道会計の職員を二十年で九人まで削減、運転業務を包括的民間業務とし、委託費用を削減している。

質問 二十一年間で約七億

円不足が見込まれているが、料金改定について伺う。

市長 中長期的な視点に立った事業運営を考慮すると、下水道使用料改定は避けられない。

質問 県議会で黒岩知事から「令和四年度までに、神奈川県水道広域化推進プランを策定する」と答弁があるがこのプランについて伺う。

上下水道部長 市町村の

区域を超えた水道事業の多様な広域化を推進するため、広域化の推進方法や、具体的取組の内容を定めるものである。

質問 プランを作成することで、県営水道への移管が前進するか伺う。

上下水道部長 知事が具体的に「三浦市」について発言したことは大きな成果である。

質問 今後どのように活動していくのか伺う。

市長 新たな会議体においても、県水移管の要望を継続して続けていく考えである。



厳しい水道事業

質問 市立病院は神奈川県モデルの中で「重点医療

機関協力病院」で、どのようなことを行っているのか伺う。

病院事務局長 多くの新型コロナウイルス感染症の患者を収容するために、一般的な疾患で療養している患者を受け入れる役割を担っている。

質問 発熱患者等の対応について伺う。

病院事務局長 発熱外来で新型コロナウイルスの抗原検査を実施し、十二月一日からはPCR法検査と同等の核酸増幅同定法のLAMP法検査を実施している。

質問 新型コロナウイルス感染症のワクチンの予防接種の準備状況について伺う。

保健福祉部長 接種実施体制は、医療機関で行う個別接種と集団的な接種も想定され、接種開始時期については未定、ワクチン接種の実施には、対象者全員へ個別にクーポン券を送送する仕組みになる予定。

議会のICT化を 検討しています



議会内に設置したICTに関する検討委員会、議会でのICT（情報通信技術）の活用について

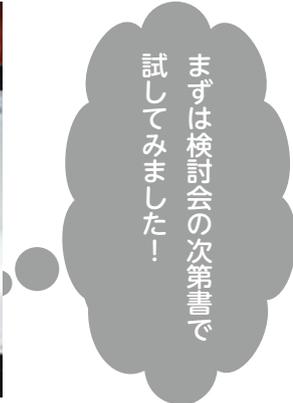


協議をしています。
現在は、タブレット端末の導入可能性に関する検討を進めています。

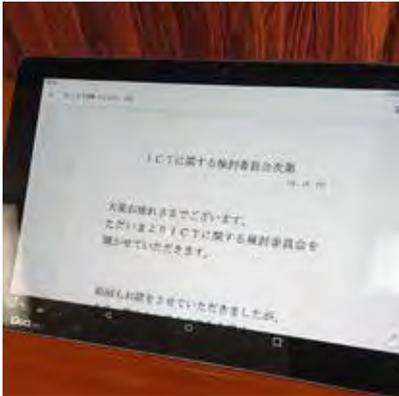
県内の各議会での導入事例を調査し、これを参考に三浦市議会ではどのような活動に取り入れることができるか、アイデアを出し合っています。

ペーパーレス化やスケジュールの共有だけではなく、災害時の活用や、現在のコロナ禍における新たな活用方法などを模索中です。

●●●●●
今後は、全国でも先駆けてタブレット端末の導入を行った逗子市議会を訪問して、タブレット端末の操作や活用事例について説明を受ける予定になっています。



まずは検討会の次第書で試してみました！



本市への行政視察（令和2年1月～12月）

昨年、三浦市を行政視察で訪れた議会は次のとおりです。

No.	月 日	市 名	視 察 事 項
1	1月20日	山口県周南市	みうら・みさき海の駅“うらり”セールスプロモーション事業について
2	1月23日	茨城県坂東市	議会改革について (三浦市議会基本条例について／議会報告会について)

◇例年、市政に関する調査や研究のため、全国の市・町議会から三浦市へ行政視察が行われています。

◇令和2年4月から、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、行政視察の受入は行っておりません。



市長から、次の方を固定資産評価審査委員会委員として選任するための議案が提出され、原案のとおり同意することに決しました。

固定資産評価審査委員会委員

中西章法氏

市長から、次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することについて意見を求める諮問が提出され、異議なき旨、答申しました。

人権擁護委員

村山智洋氏



議会災害等対策本部

新型コロナウイルスに対する議会での対応

議会災害等対策本部の活動を報告します。

* 活動記録 *

十一月四日

◎市の対応について報告を受けた。

- ・市内児童の新型コロナウイルス感染症確認及び小学校の臨時休校について

十一月二十四日

◎市の対応について報告を受けた。

- ・県から医療アラートが出されたことについて

◎市が主催する行事の開催に関する情報について確認方法を協議した。

◎十二月定例会の運営方法等について協議した。

- ・傍聴席は、本会議・委員会ともに報道席以外、八席とする
- ・換気、消毒、マスクの着用を徹底する
- ・演壇及び質問席に手指消毒剤を設置する

- ・議長席、演壇、質問席、市長席に飛沫防止用のアクリルパネルを設置する。パネル設置箇所に関し、議員はマスクまたはマウスシールドを着用、市長・市職員はマスクを着用する
- ・議席は間隔をあけて配置し、市職員の出席は最小限の人数とする

十二月十七日

◎市の対応について報告を受けた。

- ・県知事からメッセージが発表されたことを受け、市長から、感染防止対策に関するメッセージが発信されたことについて
- ・三浦市立病院でのLAMP法による新型コロナウイルス遺伝子検査導入について

◎三月定例会に向けて対応を協議した。

- ・請願、陳情は、感染防止のため持参できない

場合、申出があれば、郵送も持参と同様の扱いとする



議会報告会のお知らせ



今年度の議会報告会の開催にあたり、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた開催方法について、議会運営委員会で検討してきました。

その結果、市内3地区での開催は行わず、三浦商工会議所青年部の皆さんとの懇談会形式で次のとおり実施することとなりました。

なお、感染症対策のため、傍聴はできません。当日に報告した内容や質疑等は、次号の議会だよりや議会ウェブサイトでお知らせします。

日時	2月12日(金) 19:00~20:30
会場	三浦商工会議所 4階会議室
テーマ	コロナ禍における地域経済の活性化



議会運営委員会での検討の様子

3月定例会日程案



お家でも議会が見学できます！

三浦市議会では、本会議のライブ映像や録画した動画を配信しています。スマートフォンでも視聴できますので、ぜひ、議会の様子をご覧ください。

※録画映像は会議録が議会ウェブサイトに掲載されるまでの間ご覧いただけます。

三浦市議会
ウェブサイトは
こちらから⇒



議会インターネット中継のほか、議員の紹介や議案の審議結果など、議会に関する様々な情報を掲載しています。

令和3年第1回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月日	曜日	会議名等
2月24日	水	招集告示
26日	金	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
3月3日	水	本会議（施政方針）
4日	木	本会議（一般質問）
5日	金	本会議（一般質問）
8日	月	本会議（一般質問）
9日	火	総務経済常任委員会
10日	水	都市厚生常任委員会
12日	金	予算審査特別委員会
15日	月	
16日	火	
17日	水	
18日	木	
23日	火	本会議（委員長報告・採決）

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は2月25日(木)です。

表紙写真の紹介



議長の草間です。今回の写真は、十二月中旬に撮影した江奈湾です。

江奈湾は、三浦半島南端に位置する松輪地区の県道二百十五号沿線にあります。

江奈湾の入口には、松輪港と呼ばれ親しまれている小さな漁港があります。海には、たくさん釣りが停泊し、毎年、大勢の太公望が訪れます。また、松輪サバが有名なレストランもあります。すぐ近くには、私の母校である剣崎小学校があり、小学校時代には、大潮の時に江奈湾まで海の生物を観察に行ったものです。

今回、特にご紹介したいのが、江奈湾奥部に位置する天然の小さな干潟です。ここは、三浦半島

に残る貴重な干潟です。表紙の写真にもありますが、ヨシやアマモの群落が発達しているほか、水鳥や、引き潮時にはカニ類などの多様な生物を見ることが出来る自然豊かな場所です。

令和元年度まで行われた県道二百十五号の道路の拡幅工事においては、海側（干潟）への拡幅は行わず、山側へ土地を上げるなど、干潟の保全がなされました。

三浦半島に残る貴重な干潟として、これからも保全をしていき、将来的には、小網代の森のように干潟を観察できる遊歩道の整備や、毘沙門天までの海岸線を歩くハイキングコースの整備を検討していきたいと考えております。



二町谷地区と学校教育ビジョン

総務経済常任委員会と都市厚生常任委員会では、委員会散会後に協議会を開き、各委員会の所管に係る市の課題について市に説明を求め、質疑を行っています。

今回は、その中から話題となっている案件について、各委員長が紹介します。

総務経済

三浦市二町谷地区海業振興を目指す 用地利活用プロジェクト

二町谷地区の水産関連施設事業用地には八区画に七者が進出しています。現在は、学校法人と令和三年四月の事業用定期借地権設定契約の締結に向けた協議を行っています。また、他の事業者も水産関連施設事業用地への進出を検討しており、土地賃貸借契約の締結に向けた協議を行っていることが報告されました。



多目的活用事業用地については、土地売買契約が完了し、令和三年三月末を目的としてエスパシオミサキマリリゾート（株）により事業計画が作成される見込みです。

二町谷北公園等の管理については、県から市に委託された後、エスパシ

オが指定管理者として公園の再整備の準備を進めており、令和二年十一月から二町谷北公園駐車場の運営が開始されました。浮桟橋は、令和三年三月の設置に向けて準備を進めている事が報告されました。



質疑においては、水産関連施設事業用地に進出を検討している事業者の事業内容が養殖等である事、二町谷北公園駐車場の駐車台数は三十台で、利用料金は一時間二百二十円である事、そのほか多目的活用事業用地の事業計画等について確認されました。

そうなんだあ



都市厚生

三浦市学校教育ビジョン

都市厚生常任委員会では、三浦市学校教育ビジョンの進捗状況について、教育委員会より毎回報告を求めています。



学校教育ビジョン リーフレット

護者負担の増加に関する課題◆使わなくなる小学校施設に関する課題など解決していかねばならない課題が数多くあります。

これまで報告を受け、「慎重な姿勢で学校体制の検討に臨むこと」「市民意見を十分に把握する機会を設けること」などを市に求めてきています。市からは「推進については柔軟に対応する」「市民理解を得る努力を最大限行う」などの回答があり、説明会の開催方法などが改善されています。

これからも、多くの市民の皆様が説明会への参加をお願いするとともに、ビジョンの推進に市民意見が反映されるよう協議していきます。

必要があるとしています。ビジョンが目指す学校体制確立までには、◆安全な通学に関する課題◆保



小学校運動会の模様

三浦市議会議員 政治倫理審査会 審査報告

三浦市議会議員政治倫理条例に基づき、議員の政治倫理基準違反の存在について審査をするため設置された審査会は、令和二年十二月十五日に審査を終えましたので、結果の概要を公表します。

【審査結果報告書】

- 一・審査対象議員
石渡道臣議員
- 二・付託事案
全員協議会及び選挙管理委員会事務等に関する調査特別委員会における石渡道臣議員の発言について
- 三・審査結果
結論を得るに至らなかった。
- 四・審査の経過
審査会開催日 令和二年十二月十二日、令和二年一月三十一日、二月十八日、十二月十五日
審査の概要は別紙のとおり



出口眞琴委員長から草間道治議長に報告書を提出

【別紙・抜粋】

- 第一回審査会 令和二年十二月十二日
 - 一 審査会の設置、正副委員長の選出
 - 二 審査事案の付託
- 第二回審査会 令和二年一月三十一日
 - 一 政治倫理基準に違反する行為について
石渡道臣議員の発言内容に関して、政治倫理基準の違反が認められる箇所の有無について、各委員から意見を述べた。
- 第三回審査会 令和二年二月十八日
 - 当該議員の意見の開陳、当該議員への聴取を予定していたが、石渡道臣議員が病気療養により出席できないため、この日の審査を終了した。
- 第四回審査会 令和二年十二月十五日
 - 一 審査会の審査終了について
当該議員が議員辞職したため、審査を終了することを決定した。
 - 二 審査結果の報告について
審査会から議長に行う審査結果報告の内容を決定した。

三浦市議会議員政治倫理審査会委員(終了時)

委員長	出口 眞琴
副委員長	藤田 昇
委員	寺田 一樹
	溝川 幸二
	長島満理子
	出口 正雄
	小林 直樹

◎報告書全文は三浦市議会ウェブサイトに掲載されています。

会ウェブサイトに掲載されています。



編集委員コラム

編集委員
溝川幸二

「マンホールカード」をご存知でしょうか？ 全国の自治体と下水道広報プラットホームが共同で発行し、七百種以上のカードが存在します。郵送はしておらず、マンホール蓋はその場に行かなければ見ることができないため、下水道広報と共に観光にも貢献しています。三浦市も二カ所にカラーマンホールを設置しているため、マンホールカードに登録し、観光に活用してほしいと思います。

議会だより編集委員会

- 委員長 草間 道治
- 副委員長 藤田 昇
- 委員 蓮本 一朗
- 石橋むつみ
- 溝川 幸二
- 出口 正雄

広告を掲載 しませんか？

市内に事業所または住所を有する企業、そして個人の方も、ぜひ、ご検討ください。

議会だよりへの広告掲載料など、詳しくは、議会ウェブサイトをご覧ください。

こちらは
縦4.2cm×
横6.3cmの例

